



ひ え だ

神戸市立稗田小学校
令和3年5月6日

折り合いのつけ方

昨年の今頃は、「ステイホーム」という言葉が流行語のように使われていましたが、最近あまり耳にしなくなったような気がします。ただ、今年的大型連休も緊急事態宣言下でしたので、「ステイホーム」の連休となった方も多かったのではないかと思います。連休も終わりになりますので、できるだけ早く学校生活のリズムを取り戻していきたいものです。

さて、新学年でも約1か月が経ち、新しい環境にだんだん慣れてきた頃ですが、子どもたちは、日々の生活のなかで思いどおりにならないことにたくさん出会います。勉強のこと、遊びのこと、友だち関係など、むしろ、思いどおりにならないことのほうが多いのかもしれない。

そういうときに、どのように折り合いをつけていくのか、折り合いのつけ方を学ぶことも、生きていくうえではとても大切なスキルだと感じます。

このスキルを身につけていくためには、いろいろな体験をすること、そして、そのなかでたくさんの人と関わり合うことが大切だと考えています。

遊びのなかでの譲り合いや あきらめずに努力して、今までできなかったことができるようになることなど、一つひとつの体験を通して、子どもたちは、「がんばる力」や「我慢する心」、そして、「人に感謝する心」など大切な『生きる力』を身につけていきます。

思いどおりにならないことを乗り越えながら、子どもたちは、しだいに成長していきます。そう考えると、年相応に思いどおりにならない壁にぶつかることも、子どもたちの成長には欠かせないのだと思います。

5月は、子どもたちの小さな変化にもぜひ注意していただきたいと思います。張り切っていた気持ちが何かでつまづいて気持ちが沈んでしまったり、慣れてきたために自分勝手なルールや思い込みで行動してみたりすることがあります。また、心ない言葉で相手を傷つけてしまうこともあります。

子どもを信じることは大切ですが、もし子どもが間違っていたら正してあげることも大人の責任です。子どものことを一番近くで見ている大人が、よいところを認めつつ、時機をとらえ、必要なアドバイスをしていくことも子どもの成長には大切だと感じています。

校長 亀井 優和

現在、緊急事態宣言が発出されていますが、これまで通り手洗い、マスク着用、換気の徹底、校内の消毒を行いながら学校運営をしていきます。子供たちの安全を第一に考え、今後も行事の中止や変更をすることもあります。ご理解ご協力よろしくお願いします。